

## はじめに - 記念誌刊行の経緯

柳井 晴夫

日本行動計量学会35年記念誌編集委員会委員長

1973年9月に日本行動計量学会が発足し、昨年の2007年大会（同志社大学）で第35周年を迎えた。林知己夫初代理事長（1973年9月～88年3月）、肥田野直2代目理事長（1988年4月～91年3月）、水野欽司第3代目理事長（1991年4月～94年3月）の跡をついで、4代目理事長（1994年4月～2000年3月）の重責を果たすことが出来た。この後理事長に就任された、杉山明子氏（2000年4月～2006年3月）、および飽戸弘氏（現理事長）（2006年4月～）から、日本行動計量学会史編纂担当委員（責任者）を委嘱されていたにも拘らず、これまで、責任を果たすことができなかった。今回、昨年の大会が35周年を迎えたことがひとつの契機となり、現理事会に、学会史編纂担当委員を35年記念誌編集委員会に昇格させていただくことになった。このような経由で、現理事会において認められた日本行動計量学会35年記念誌編集委員会は以下のメンバーである。

委員長：柳井 晴夫

副委員長：杉山 明子

委員：岩坪 秀一・西川 浩昭・馬場 康維・丸山 久美子・松原 望  
森本 栄一・森 裕一・吉野 諒三

これらの委員による委員会を2008年の1月に開催し、上記の委員のうち、西川浩昭・森裕一・森本栄一と柳井の4名で編集の仕事を開始した。

まず、巻頭言は飽戸弘理事長に依頼した。その後、行動計量学会年表を作成したが、それらの年表の内容を補足する意味で、過去に、理事、編集委員、運営委員、学会賞受賞者などに、「日本行動計量学会35周年を祝う（仮題）」を執筆いただいた。執筆を快諾して頂いた61名の会員の方々にこの場を借りて謝意を表したい。

なお、林知己夫元理事長はじめ鬼籍に入られた先生方については過去にご執筆いただいた会報の巻頭言を原文のまま掲載させて頂いた。さらに、巻末には資料集をつけた。これらの内容を盛り込んだ日本行動計量学会35年誌は、本学会員にとって貴重な財産になりうるものである。